

動薬協会発 362 号

平成23年12月19日

社団法人日本動物用医薬品協会

会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会

理事長 岡本 雄平

(公印省略)

台湾における口蹄疫の続発及び中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。  
さて、標記のことについて、農林水産省消費・安全局動物衛生課長より通知がありましたのでお知らせします。



23消安第4738号  
平成23年12月14日

社団法人 日本動物用医薬品協会理事長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における口蹄疫の続発及び中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長宛て通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。



写

23消安第4738号  
平成23年12月14日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

台湾における口蹄疫の続発及び中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

台湾における口蹄疫の発生については、「台湾における口蹄疫の新たな発生に伴う畜産関係者への指導の徹底について」（平成23年11月8日付け23消安第4102号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）等によりお知らせし、また、近隣諸国における高病原性鳥インフルエンザ等の発生についても、種々の通知によりお知らせしているところです。各都道府県におかれましては、これらについて、広く畜産関係者等への周知をお願いするとともに、農場における飼養衛生管理基準の遵守の徹底等を指導していただいているところです。

今般、台湾当局から国際獣疫事務局（OIE）に対し、12月8日に新たな口蹄疫の発生が確認された旨、通報されました。別紙1のOIE情報によると、本事例は、と畜場において豚に水疱が確認され、PCR検査、ウイルス分離検査及び抗原検出ELISA検査が全て陽性であり、本年に入ってから広範囲にわたる地域で10件もの発生が確認されていることから、本病ウイルスが、台湾全土において常在している可能性が非常に高いと考えられます。

また、中国当局からOIEに対し、12月12日に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、別紙2のとおり通報されました。今回の報告は、H5N1亜型によるもので、東アジアにおいて今シーズン初めての発生報告となります。また、近隣諸国の発生状況からも、我が国へ高病原性鳥インフルエンザウイルス等が侵入するリスクは、依然として高いと考えられます。

つきましては、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザ等の発生状況を別添のとおり更新しましたので、適宜御活用の上、引き続き、飼養衛生管理基準及び種々の通知に基づく畜産関係者等への指導の徹底をお願いいたします。

なお、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、御活用ください。

<農林水産省ホームページ：家畜の疾病に関する情報>

URL：[http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/index.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/index.html)

### 【OIE情報】台湾における口蹄疫（O型）の発生について

2011年12月13日  
動物衛生課

出典：OIEホームページ

[http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single\\_report&pop=1&reportid=11377](http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11377)

台湾における口蹄疫の発生についてOIEに報告がありましたのでお知らせします。

#### 【概要】

- ・発生数：1件（緊急通報）
- ・発生日：2011年12月7日
- ・診断確定日：2011年12月7日
- ・OIEへの報告日：2011年12月12日
- ・血清型：O型

#### 【発生状況】

- ・発生場所：台湾 桃園県 蘆竹（ルーヂュー）市
- ・桃園県のと畜場にて、豚一頭に水疱が確認され、国立研究所でウイルス分離したところ口蹄疫ウイルス（O型）を検出した。県の家畜衛生当局は本豚一頭を直ちに殺処分。と畜場の清掃と消毒を行った。また本豚の由来農場を特定し、臨床検査を行ったところ本農場の豚は全頭健康であった。本農場の豚は移動制限中。また本農場から採取した検査材料による血清学的検査とウイルス分離は現在検査中である。

動物種	飼育頭数	症例数(罹患率)	死亡数	淘汰数	と畜数
豚	1013	1	0	1	1012

#### 【診断】

- ・診断施設：Animal Health Research Institute（国立研究所）

対象	検査	検査結果	診断確定日
豚	抗原（Ag）検出ELISA	陽性	2011/12/8
豚	RT-PCR	陽性	2011/12/7
豚	ウイルス分離	陽性	2011/12/8

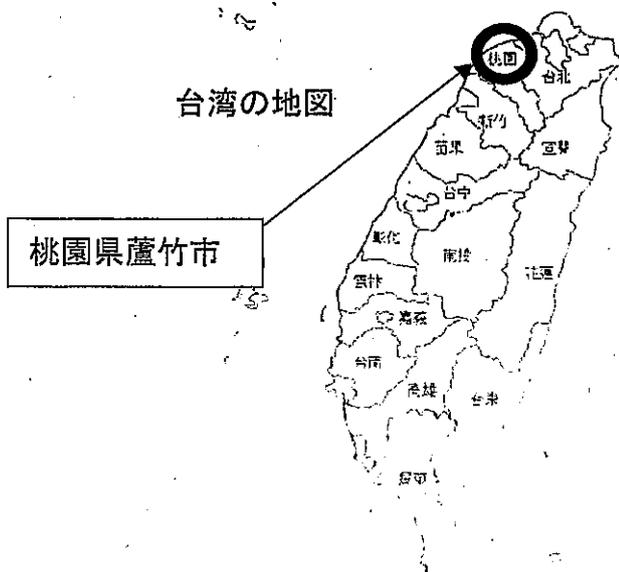
#### 【感染源】

不明または調査中

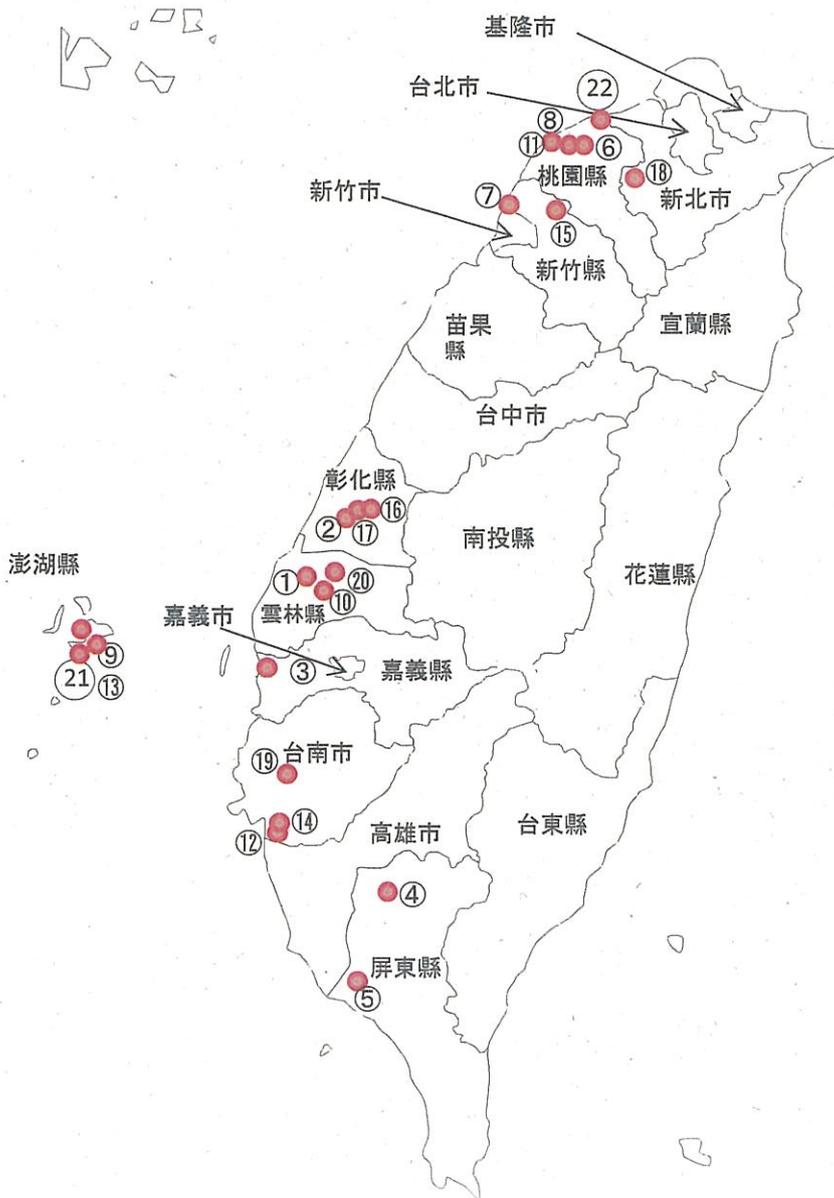
#### 【対応】

- ・隔離、部分淘汰
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・施設の消毒
- ・ワクチン接種未実施
- ・患者を治療対象としない

台湾の地図



# 台湾における口蹄疫の発生状況 (2009年2月～)



## 2009年

- ①雲林縣麥寮鄉 :2月 4日 (O型、豚)
- ②彰化縣埤頭鄉 :2月 9日 (O型、豚)
- ③嘉義縣新港鄉 :3月27日 (O型、豚)
- ④屏東縣Yanou 郷:5月18日 (O型、豚)
- ⑤屏東縣萬丹郷 :6月25日 (O型、豚)
- ⑥桃園縣大園郷 :6月 9日 (O型、豚)
- ⑦新竹縣竹北市 :7月13日 (O型、豚)
- ⑧桃園縣新屋郷:8月25日 (O型、豚)

## 2010年

- ⑨澎湖縣馬公市 :2月12日 (O型、豚)
- ⑩雲林縣褒忠郷 :6月22日 (O型、豚)
- ⑪桃園縣新屋郷 :8月10日 (O型、豚)
- ⑫台南市南区 :12月17日 (O型、豚)

## 2011年

- ⑬澎湖縣馬公市 :3月22日 (O型、豚)
- ⑭台南市下營郷 :3月21日 (O型、豚)
- ⑮新竹縣新埔郷 :5月6日 (O型、豚)
- ⑯彰化縣永靖郷 :5月16日 (O型、豚)
- ⑰彰化縣田尾郷 :5月23日 (O型、豚)
- ⑱新北市鶯歌区 :7月11日 (O型、豚)
- ⑲台南市Shigang区:7月26日 (O型、豚)
- ⑳雲林縣二崙郷 :10月19日 (O型、豚)
- ㉑澎湖縣馬公市 :10月30日 (O型、豚)
- ㉒桃園縣蘆竹市 :12月7日 (O型、豚)

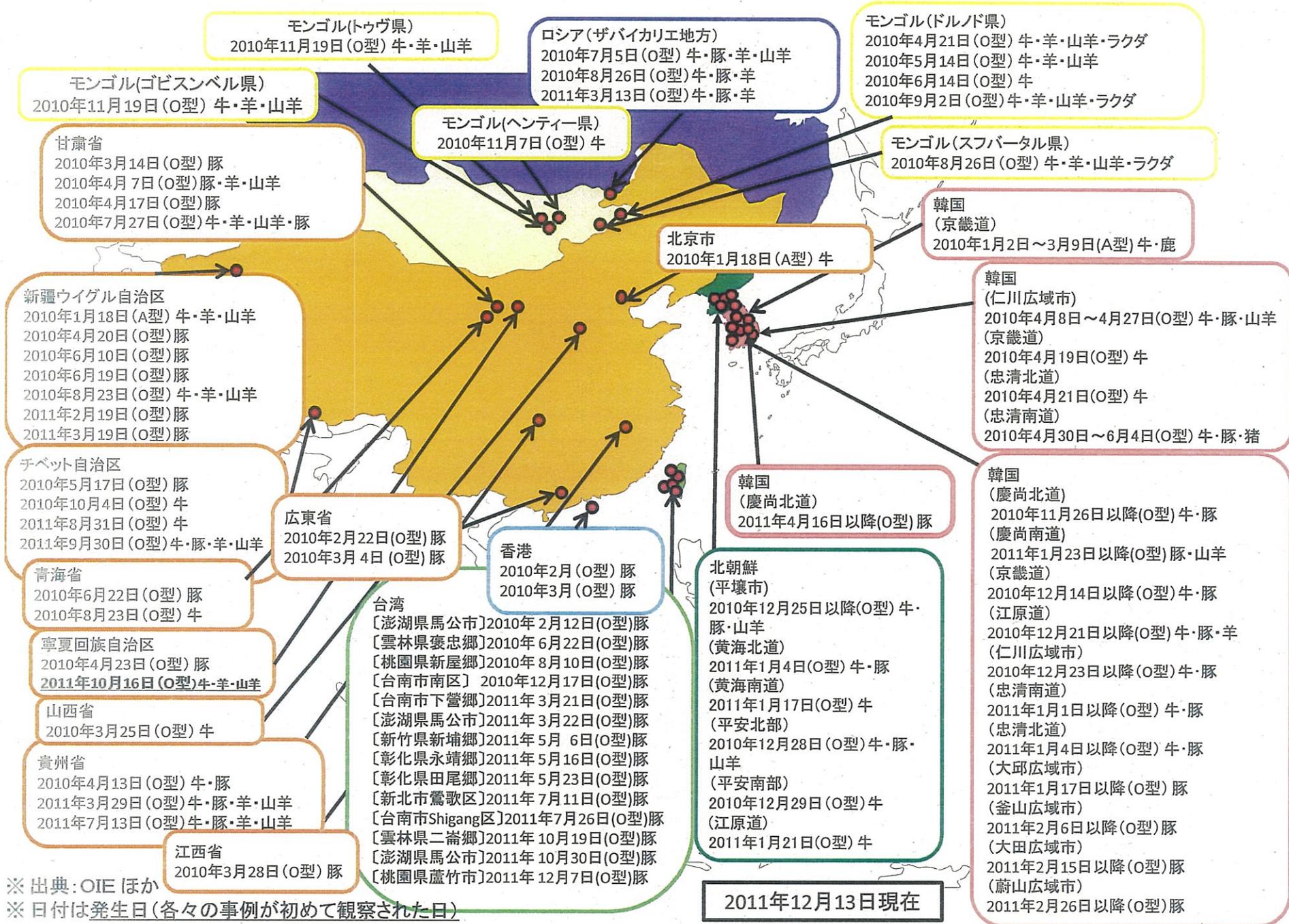
①②⑦⑨ 22	ウイルス分離 RT-PCR 抗原検出ELISA
③④⑧⑩ ⑪⑫⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲ ⑳	抗体検出ELISA
⑤	抗体検出ELISA 中和試験
⑥	ELISA
⑬	リアルタイムPCR
21	ウイルス分離 RT-PCR

2011年12月13日現在

出典:OIE WAHID

※日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)  
※検査結果が陽性のものを記載

# 中国、香港、台湾、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2010年1月以降の発生)



※ 出典: OIE ほか  
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)

【OIE情報】中国における高病原性鳥インフルエンザの発生について

2011年12月13日  
動物衛生課

出典：OIEホームページ

[http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single\\_report&pop=1&reportid=11376](http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11376)

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生についてOIEに報告がありましたのでお知らせします。

【概要】

- ・発生件数：1件（緊急通報）
- ・発生日：2011年12月2日
- ・診断確定日：2011年12月12日
- ・OIEへの報告日：2011年12月12日
- ・血清型：H5N1
- ・前回の発生：2010年5月25日

【発生状況】

- ・発生場所：チベット自治区 ラサ

動物種	飼育頭数	症例数	死亡数	淘汰数	と畜数
家きん	1865	290	290	1575	0

【診断】

- ・診断施設：Harbin Veterinary Research Institute(OIEレファレンスラボラトリー)

対象	検査	検査結果	診断確定日
家きん	赤血球凝集抑制試験 (HIT)	陽性	2011/12/12
家きん	静脈内接種試験(IVPI)	陽性	2011/12/12
家きん	RT-PCR	陽性	2011/12/12

【感染源】

不明または調査中

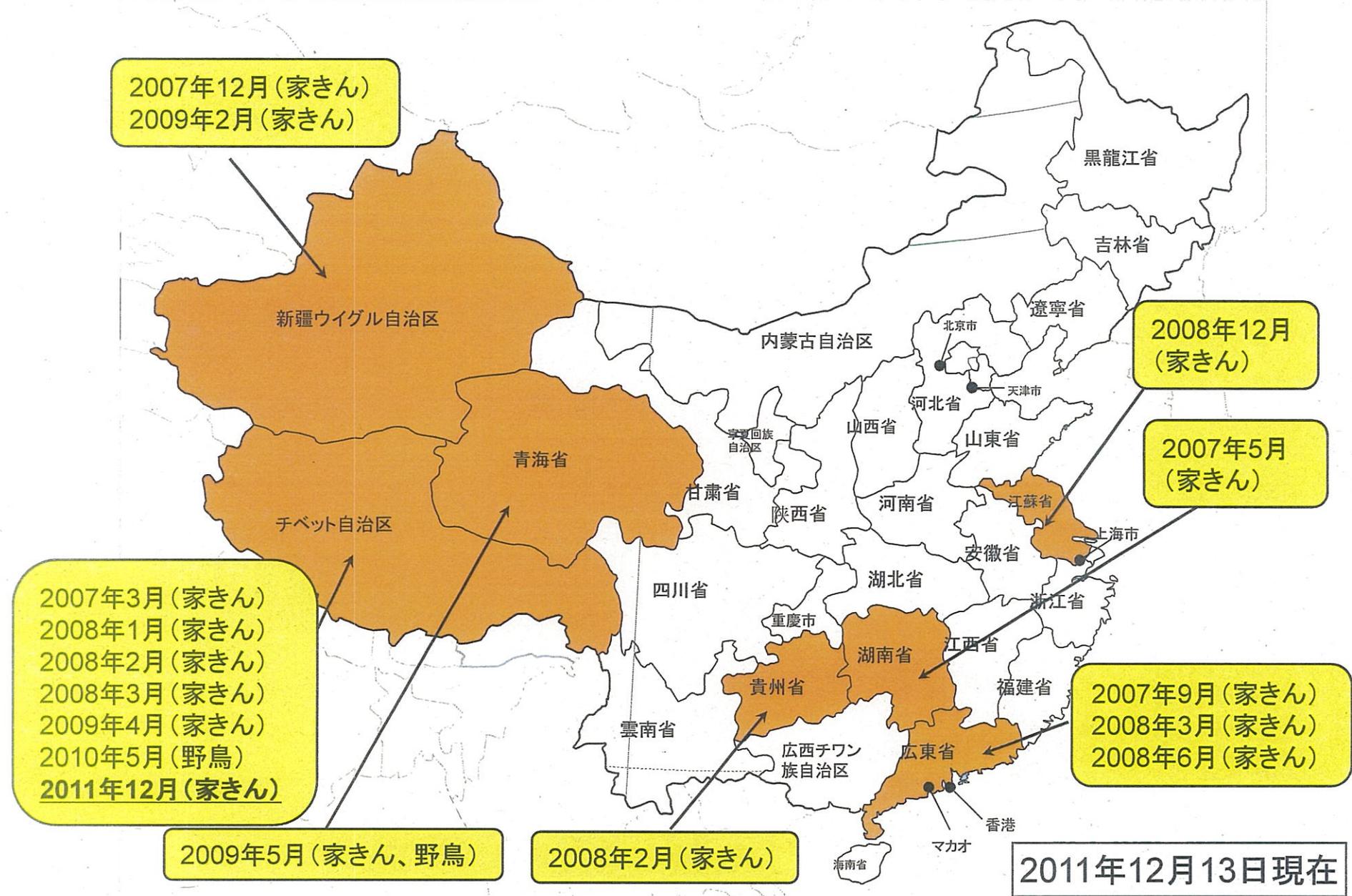
【対応】

- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・汚染地域と清浄地域の区分け
- ・スクリーニング
- ・ワクチン接種実施
- ・浸漬消毒、噴霧消毒
- ・患畜を治療対象としない

中国地図



# 中国における高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の発生状況(2007年1月~)



※更新点:チベット自治区における高病原性H5N1の発生(感染確認日:2011年12月12日)

※出典:OIE他

# 高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2010年以降)

高病原性発生地域 = ■ 又は高  
 低病原性発生地域 = ■ 又は低  
 ※高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

《ヨーロッパ》

英国	H5(低)	感染確認日:2010. 7.28
ノース・ヨークシャー州		感染確認日:2010. 5.18
ノッティンガムシャー州		感染確認日:2010. 6.11
ロシア	H5N1(高)	感染確認日:2009.10.28
イタリア	H7N3(低)	感染確認日:2010上半年期
	H5N2(低)	感染確認日:2010上半年期
	その他(低)	感染確認日:2010上半年期
ルーマニア	H5N3(低)	感染確認日:2010.11.10
	H5N1(高)	感染確認日:2010. 3.15
オランダ	H7N7(低)	感染確認日:2011. 6.24
	H7N7(低)	感染確認日:2011. 5.12
	H7N1(低)	感染確認日:2011. 3.22
	H7(低)	感染確認日:2010. 5.16
ドイツ	H7N7(低)	感染確認日:2011. 5.27
	H5N2(低)	感染確認日:2010.11.11
フランス	H5N3(低)	感染確認日:2009.11.13
デンマーク	H7N1(低)	感染確認日:2010. 3. 9
スペイン	H7N7(高)	感染確認日:2009.10.11
ブルガリア	H5N1(高)	感染確認日:2010. 4. 1

《東アジア》

中国	H5N1(高)	感染確認日:2010. 6. 3
	H5N1(高)	感染確認日:2011.12.12
香港	H5N1(高)	感染確認日:2011. 1.19
	H5N1(高)	感染確認日:2010.12.21
	H5N1(高)	感染確認日:2010. 3.29
台湾	H5N2(低)	感染確認日:2011. 11.15
	H7N3(低)	感染確認日:2011. 4. 7
	H5N2(低)	感染確認日:2011. 3.21
	H5N2(低)	感染確認日:2010. 9.29
	H5N2(低)	感染確認日:2010. 1.21
モンゴル	H5N1(高)	感染確認日:2011. 4.11
	H5(高)	感染確認日:2010. 5. 8
韓国	H7N2(低)	感染確認日:2010.12.16
	H5N1(高)	感染確認日:2010.12. 7
	H7N6(低)	感染確認日:2010.11. 3
	H7N7(低)	感染確認日:2010.10.15
	H7N7(低)	感染確認日:2010. 5.20

《アフリカ》

エジプト	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
セーシェル	(低)	感染確認日:2010上半年期
南アフリカ共和国	H5N2(高)	感染確認日:2011. 2.11
		感染確認日:2011. 3.16

日本

H5N1(高)	感染確認日:2010.12.29
H5N1(高)	感染確認日:2010.11.29

《南アジア》

インド	H5N1(高)	感染確認日:2011. 9. 7
		感染確認日:2011. 2.16
		感染確認日:2010. 1.14
パングラデシュ	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
イラン	H5N1(高)	感染確認日:2011.9.15
		感染確認日:2010上半年期
ネパール	H5N1(高)	感染確認日:2011.11.14
		感染確認日:2010.10.27
		感染確認日:2010. 1.31
ブータン	H5N1(高)	感染確認日:2010. 2.22

《西アジア》

イラク	(低)	感染確認日:2010上半年期
イスラエル	H5N1(高)	感染確認日:2011. 4.11
		感染確認日:2011. 3. 7
		感染確認日:2010. 5. 6
		感染確認日:2010. 1.26
パレスチナ自治区	H5N1(高)	感染確認日:2011. 3. 3
	(低)	感染確認日:2010年2月,7月

《東南アジア》

ベトナム	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
インドネシア	H5N1(高)	2010年1月以降も継続的に発生
ラオス	H5N1(高)	感染確認日:2010. 5. 6
カンボジア	H5N1(高)	感染確認日:2011. 7.28
		感染確認日:2011. 7.19
		感染確認日:2011. 1.29
		感染確認日:2010. 1.29
ミャンマー	H5N1(高)	感染確認日:2011. 1.16
		感染確認日:2010. 2. 3

《南北アメリカ》

アメリカ		
ノースカロライナ州	H5(低)	感染確認日:2011.3.21
ミズーリ州	H7N3(低)	感染確認日:2011.3.25
ネブラスカ州	H7(低)	感染確認日:2011.4.8
ミネソタ州	H7N9(低)	感染確認日:2011.6.29
	H7N9(低)	感染確認日:2011.5.26
カナダ		
マニトバ州	H5N2(低)	感染確認日:2010.11.23
メキシコ		
コアウイラ州他	H5N2(低)	感染確認日:2010上半年期
ドミニカ共和国	H5N2(低)	感染確認日:2010上半年期
ハイチ共和国	H5N2(低)	感染確認日:2010下半年期
グレナダ	(低)	感染確認日:2010上半年期

2011年12月13日現在

※更新点: 中国における高病原性H5N1の発生(2011.12.12)  
 ネパールにおける高病原性H5N1の発生(2011.11.14)  
 台湾における低病原性H5N2の発生(2011.11.15)  
 イランにおける高病原性H5N1の発生(2011.9.15)

出典: OIE WAHID 及び FAO等